



## ～「幻の安土城」復元プロジェクト～

# 歴史セミナー「安土山図屏風」研究の最前線

## 「ヴァン・ウィングが描いた安土図屏風スケッチの再考」ほか

今年度のセミナーでは、「安土山図屏風」の最新の研究状況について、屏風の調査研究に携わる「安土図屏風探索ネットワーク」のメンバーからご紹介いただきます。海外での調査も踏まえた最新の研究成果に、ぜひご注目ください。

### セミナーの概要

1. 日時 令和5年(2023年)9月16日(土) 13:30～16:30 ※13:00開場

2. 会場 コラボしが21 3階大会議室 滋賀県大津市打出浜2-1  
JR膳所駅より徒歩約15分 京阪石坂線石場駅より徒歩約5分

### 3. 内容

13:30～14:00 『安土山図屏風』探索事業について～主旨説明にかえて～  
松下浩(滋賀県文化スポーツ部文化財保護課課長補佐)

14:00～15:00 「ヴァン・ウィングが描いた安土図屏風スケッチの再考」(日本語での講演)  
マーク・アードマン氏(メルボルン大学講師・安土図屏風探索ネットワーク)



ボストン出身。2018年よりメルボルン大学芸術学部講師。  
安土城を核として15-17世紀の日本建築および空間・絵画・建設と権力の交差点を研究している。現在、安土城に関する単著『覇権の遂行：織田信長と安土城天主 1576-1582』を執筆中。  
2016年より安土屏風探索ネットワーク(ASRN)に参加し、ローマ・バチカン等現地調査の学術監修を担当している。

15:00～15:15 『安土山図屏風』について  
木戸雅寿(滋賀県文化スポーツ部文化財保護課参事員)

15:15～15:30 休憩

15:30～16:30 パネルディスカッション：「安土山図屏風」研究の最前線  
コメント 新保淳乃氏(武蔵大学講師・安土図屏風探索プロジェクト)  
パネラー：マーク・アードマン氏・新保淳乃氏  
コーディネーター：木戸雅寿・松下浩

どんな話か  
楽しみじゃ！



4. 定員 200名（事前申込制 先着順）

5. 参加費 無料

6. 主催 滋賀県

#### 参加申込方法

1. FAX・電話・メールで、住所（市まで 番地不要）・氏名（ふりがな）・連絡先（携帯電話推奨）を下記まで。
2. 申込締切 令和5年9月14日（木）17:00

#### 参加申込・問い合わせ

滋賀県文化スポーツ部文化財保護課安土城・城郭調査係

〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1番1号

TEL：077-528-4678 FAX：077-528-4956 E-mail：castle@pref.shiga.lg.jp

城郭調査事務所 TEL：0748-46-6144

#### 新型コロナ感染症対策として

1. 体調不良の場合は参加をお控え願います。
2. 新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては休止にすることもあります。その場合は参加申込をされた方にはその旨連絡します。

#### 背景・経緯

- 安土城は、織田信長が天下人の拠点として近江国、琵琶湖岸の安土山に築いた巨大城郭です。その豪壮華麗な姿は遠くヨーロッパにまで知られていますが、天正4年(1576)の築城開始からわずか10年で廃城となったため、安土城に関する資料はほとんど無く、その実像は謎に包まれています。
- 滋賀県では、謎に包まれた安土城の実像を解明し、目に見える形で復元することで、安土城の価値や魅力をより多くの人に知ってもらい、地域の活性化につなげることを目指して、「幻の安土城」復元プロジェクトを令和元年度(2019)にスタートさせました。
- プロジェクトでは、謎に包まれた安土城の実像解明と将来に向けての保全に取り組む一方で、令和8年(2026)の築城450年を目指してデジタル技術を活用した安土城の復元を進めています。これらと合わせて、安土城について理解を深め、安土城への関心を高めるため、毎年歴史セミナーを開催しています。